

## ◎ 菅内閣発足の舞台裏 (新内閣発足の手続き)

### 1 前内閣(安倍内閣)の総辞職 (最終閣議)

#### ① 内閣総辞職の閣議決定

- ・ 内閣総辞職をした後も、新内閣総理大臣が任命されるまでの間は、引き続きその職務を行う。

#### ② 天皇が (国会の指名に基づいて) 新内閣総理大臣を任命するために必要な「助言と承認」の閣議決定

- ・ 便宜的にこの時点で行う。
- ・ 新内閣総理大臣の氏名は空白とし、国会での指名が終わった後で事務的に補充する。

### 2 国会での首班指名

#### ○ 衆議院・参議院が、それぞれ本会議を開いて内閣総理大臣を指名

- ・ 過半数を得た者がいないときは、上位2名による決戦投票で多数を得た者
- ・ 衆参の議決が異なる場合 → 両院協議会 → 衆議院の議決が国会の議決となる

### 3 新内閣総理大臣・国務大臣の任命

- 新内閣総理大臣に指名された者は、直ちに総理官邸で組閣（国務大臣の選考）を行うのが通例。選考が終了した後、内閣官房長官(予定者)から閣僚名簿を発表。

→ 宮中での親任式、認証式に臨む

#### ① 宮中での親任式

i 衆参議長が、皇居にて天皇に対し、内閣総理大臣の指名結果を内奏し、上奏書を提出

ii 前内閣総理大臣が、国会で指名された者を内閣総理大臣に任命するよう内奏

→ 上奏書を提出して天皇の裁可を得る（上奏書に「可」の印が押印される）。

→ 新内閣総理大臣任命の「官記」（任命書のこと）にご署名をいただく。

御璽（「天皇御璽」と刻印されている）は、侍従が押印する。

iii 正殿松の間での親任式

新内閣総理大臣は、天皇から「任命する」旨のお言葉をいただいた後、前内閣総理大臣から官記が伝達される。なお、衆参議長も侍立する。

② 各国務大臣の認証式（認証官任命式）

- ・ 国務大臣は、内閣総理大臣が任命。天皇が認証する。
- i 親任式の後、新内閣総理大臣は、天皇に各国務大臣の任命について内奏  
→ 上奏書を提出して天皇の認証を得る（上奏書に「認」の印が押印される）。  
→ 国務大臣任命の「官記」に、それぞれご署名をいただく。御璽は、侍従が押印する。
- ii 正殿松の間での認証式  
天皇ご臨席の下、各国務大臣に内閣総理大臣から官記が交付される。  
その際、天皇から「重任ご苦勞に思います」旨のお言葉をいただく。

御 名 御 璽	（氏名）	国務大臣に任命する	（日付）	内閣総理大臣（氏名）
------------------	------	-----------	------	------------

御 名 御 璽	（氏名）	内閣総理大臣に任命する	（日付）	内閣総理大臣（氏名）※
------------------	------	-------------	------	-------------

※ 前の内閣総理大臣の氏名（自署）

#### 4 初閣議など

##### ① 各大臣の辞令交付

認証式終了後、総理官邸に移動 → 内閣総理大臣から各国务大臣に、総務大臣などの各省大臣や行政改革担当などの担当大臣の補職辞令が交付される。

(今回は、辞令を7枚交付された大臣がいた。)

(注) 国务大臣は特別職であり、「任官補職」の考え方で職務内容が決まる。

まず、国务大臣の地位が与えられ(任官)、次に、各省大臣など具体的な職務を命じられる(補職)。

なお、内閣総理大臣は、一官一職であり、補職の必要がない。

##### ② 初閣議

##### ③ 記念撮影、官邸での記者会見など

##### ④ 新大臣初登庁

官邸での一連の行事が終わった後、各大臣は、それぞれの役所に初めての登庁。

(たいてい深夜になる)